

日本気象学会

昭和50年秋季大会・大阪管区気象研究会

会期：昭和50年10月29日（水），30日（木），31日（金）
 会場：大阪府立商工会館（大阪市東区南本町5丁目16番地）

目 次

大会行事予定表	531
会場と宿舎案内図	532
研究発表内容一覧表	533
シンポジウム内容	533
研究発表題目	534

大会行事予定表

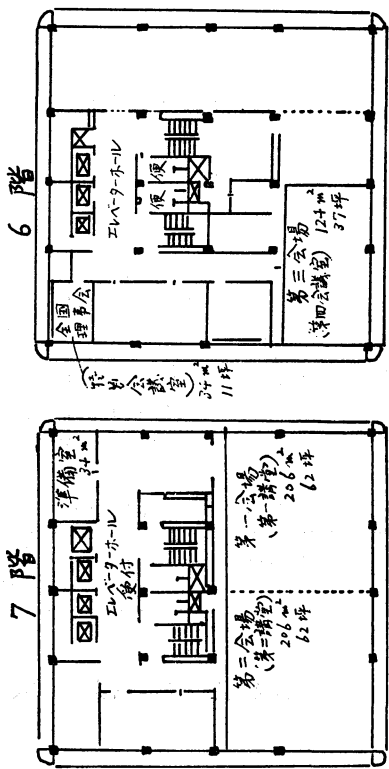
1. 会場：大阪府立商工会館（大阪市東区南本町5丁目16番地 TEL 271-0031）
 （第1，第2，第3会場）
2. 会期：10月29日（水），30日（木），31日（金）
3. 行事

大会（研究発表）（第1，第2，第3会場）	10月29日（水）09：00～12：30
〃	〃 13：30～18：00*
大会（研究発表）（第1，第2，第3会場）	10月30日（木）09：00～12：30
関西支部年会（第3会場）	13：00～14：00
理事長あいさつ，日本気象学会奨励金贈呈式	14：00～17：00
シンポジウム	
懇親会	17：30～
大会（第1，第2，第3会場）	10月31日（金）09：00～12：30
〃	13：30～17：00*

* 第3会場のみ13：30～16：00

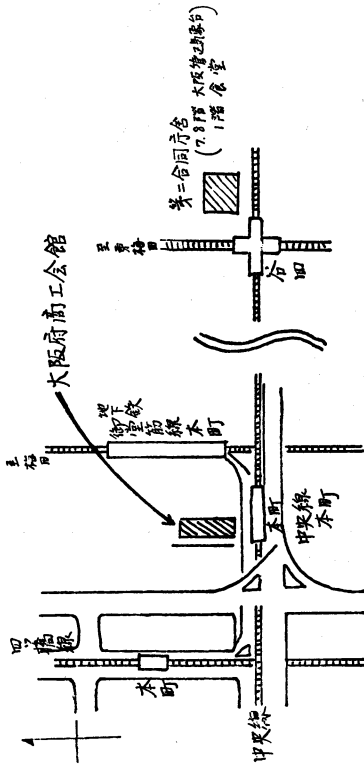
大会委員長 小林 寿太郎

昭和50年度秋季大会会場見取図
大阪府商工会館 6, 7 階



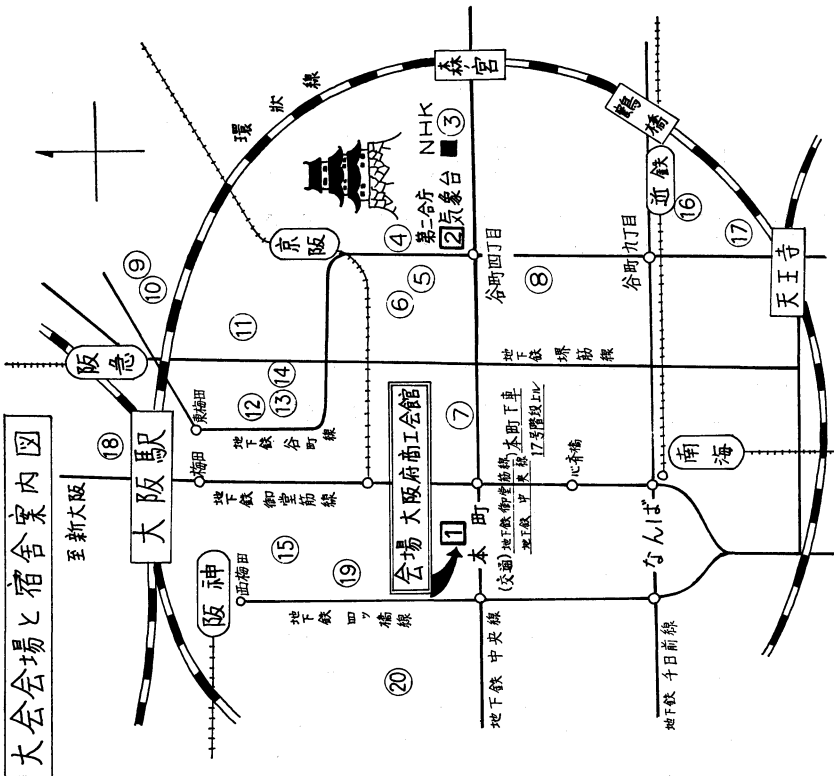
30日午後 第一第二を合併してシンポジウム
会場とする

第三会場 30日昼休園西支部年会、総会



(地下鉄) 中央線本町下車または御堂筋線本町下車、地下道より商工会館に入り7階エレベーター、ホール受付

30日第二日目 18時30分より大阪第二合同庁舎一階食堂にてレセプション
(地下鉄中央線本町より谷町四丁目下車)



番号	個所名	TEL	所在地	番号	個所名	TEL	所在地
1	大阪府商工会館	271 0031	東区南本町5丁目16	11	大阪七ツ沢ホテル	358 1076	北区天神橋筋3丁目
2	大阪警視庁象台	941 3341	東区法田坂6	12	丸一ホテル	312 6621	北区荒我野町30
3	大阪共済会館	942 243	東区法田坂6	13	法華クラブ	313 3171	北区荒我野町50
4	大阪けいさつ会館	941 1231	東区大字前之町	14	ホテル蘭西	312 7971	北区荒我野町122
5	大連	94 6007	東区本町1丁目3	15	ニューセンทรัล	344 9951	北区豊根崎筋地2
6	大牛ホテル	943 2033	東区大手通2丁目	16	なにわ会館	712 4441	天王寺区石段町38
7	セーヨーホテル	252 6926	東区本町3丁目	17	大阪郵便貯金会館	772 7501	天王寺区上本町9丁目
8	谷町荘	762 0506	東区船川町3	18	新阪急ホテル	6600	北区小深町38
9	エレガントホテル	359 6161	北区天神橋筋6丁目	19	大阪クラフトホテル	201 212	北区中之島2
10	富士旅館	351 3539	北区天神橋筋4丁目	20	大阪ロイヤルホテル	448 1121	北区玉江町2

昭和50年秋季大会

(): 講演番号, — — : 座長

		第1会場	第2会場	第3会場*
10月 29日 (水)	09.00~12.30	気候 (101~113) —吉野正敏—	放射 (201~214) —田中正之—	大気電気 (301~414) —石川晴治—
	13.30~18.00	大循環 大気振動 (114~130) 熱帯気象 —岩嶋樹也—	放射 (215~217) —田中正之— 大気汚染 (218~232) —中野道雄—	オゾン (315~317) 応用気象 (318~324) —能登正之—
30日 (木)	09.00~12.30	台 風 (131~143) 季節風 —新田 勲—	境界層 (233~246) —島貫 陸—	測 器 (325~335) —大西慶市—
	13.00~14.00			関西支部年会
	14.00~17.00	理事長あいさつ, 学会 奨励金, シンポジウム		
31日 (金)	09.00~12.30	積 雲 (144~157) 集中豪雨 —二宮光三—	境界層 (247~261) —光田 寧—	雲物理 (336~349) —山下 晃—
	13.30~17.00	総観気象 (158~172) —久保田利一—	境界層 (262~276) —竹内清秀—	雲物理 (350~358) —駒林 誠—

* 第3会場の午後は13.30~16.00です。

シンポジウム「海陸風」

1. 日時 第2日(30日)(木) 14時30分~17時
2. 会場 第1会場
3. 座長 山元竜三郎
4. 話題提供者

宮田賢二: 瀬戸内海沿岸付近における海陸風と大気汚染

佐藤 功: 海陸風と沿岸都市汚染

河村 武: 関東地方の汚染シミュレーション

荒川正一: 海陸風のシミュレーション

研究発表題目

大会第1日(10月29日) 9時~12時30分

第1会場 気候 座長 吉野正敏

101. 須田滝雄: 極渦の年々の変動と太陽活動
102. 須田滝雄: 東アジア雨季の年々の変動と太陽活動
103. 中島暢太郎(京大・防災研): 東南アジアの降水量の変動
104. 井上治郎(京大・阪災研): ヒマラヤ高山地域における熱と水の交換(Ⅲ)
105. 大井正一・内山徳栄(気研・予報): 成層圏の解析(26) 冬の気圧場
106. 吉野正敏(筑波大・地球科学系): 100mb 面高度図型の分類と南アジア高気圧・極夜渦の面積, その他の気候特性との関係について
107. 堀竹昌治(広島地台): 上部対流圏循環場からみた西日本の異常天候について
108. 高橋浩一郎(筑波大): 気象4年周期の分析
109. 森 信成(気研・予報): 対流圏下部季節平均気温場の経年変化
110. 岡本利次(気象庁・統計): 月平均気温のスペクトル解析
111. 荒井 康・矢島栄三(気研・予報): 気圧, 気温および日照の相関について
112. 奥田 稷(気研・台風): 日本における大雨日数の長周期変動について
113. 荒井 康・矢島栄三(気研・予報): 日本附近の天気図型の解析(第2報)

第2会場 放射 座長 田中正之

201. 松野太郎・松田佳久(東大・理): 金星大気の輻射・対流平衡 I
202. 松野太郎・松田佳久(東大・理): 金星大気の輻射・対流平衡 II
203. 森山 茂(日大・習志野): ダストを入れた火星大気の輻射・対流平衡に関する数値実験
204. 森山 茂(日大・習志野): 金星大気の研究:(I) 雲の中の太陽光の放射伝達(第1報)
205. 田中正之・中島映至(東北大・理): 大気-海洋系の放射伝達 III - 平らな海面の場合
206. 嘉納宗靖・宮内正厚(気研・高物): 曇天の場合の放射冷却率の計算
207. 田中正之(東北大・理)・太田幸雄(国立公衆衛生

院): P_3 近似法を用いた霧の放射収支計算について

208. 阿部勝宏(気象庁・気象衛星): 雲頂高度決定における射出率の影響
209. 佐藤隆夫(長崎大学): 平面大気と球面大気における散乱光の比較
210. 佐藤隆夫(長崎大学): 一次散乱光の極値の位置を示す表(I)
211. 佐藤隆夫(長崎大学): 長期間の斜面日照時間の算定法(I)
212. 川口貞男(極地研)・林則雄(高層台): 昭和基地における大気混濁度(2報)
213. 山本義一・田中正之・近藤純正・太田幸雄: 日射観測に基づくエアロゾル吸収率の評価(II)
- 214.

第3会場 大気電気 座長 石川晴治

301. 佐藤公喜(愛知県公害調査センター): Washoutによるエアロゾル粒度分布の変形
302. 望月定・関川俊男(東理大・理): 易動度測定器と電頭によるサブミクロンエアロゾル粒子同度の一試案
303. 児島 紘・関川俊男(東理大・理): エアロゾルの電荷分布の測定(I)
304. 児島 紘・関川俊男(東理大・理): 小イオンの大粒子への附着
305. 森田恭弘・石川晴治(名大・空電研): 航空機によるエアロゾルの観測結果
306. 中谷 周(北大・水産): 洋上大気中エアロゾルの化学成分
307. 磯野謙治・石坂 隆(名大・水圏研): 冬季南西諸島上空のエアロゾル (AMTEX 1975)
308. 下 道国・池辺幸正(名大・工): 高濃度環境における娘核のエアロゾルへの付着
309. 双木泰男(都立深川高校)・望川定・関川俊男(東理大・理): 八丈島・三宅島におけるラドン濃度の測定(II)
310. 下 道国・池辺幸正・石黒 明・林 叶・日野晴登(名大・工): 大気中のラドン濃度の測定法

311. 中谷 茂(電総研)・角田智良(東理大): ^{222}Rn と
壊変生成物濃度の日変化
312. 中谷 茂(電総研)・角田智良(東理大・理): 大気
電気伝導度に及ぼす自然放射能と渦動拡散の影響
313. 北川信一郎・舟木数樹(埼玉大・理工)・池上三和
子・金沢五寿雄・三崎方郎(気研)・中谷 茂(電
総研)・角田智良・増田純夫・望月 定(東理大・
理)・首藤克彦(東理大・理工)・野田, 浦和, 田
無, 高門寺, 神楽坂における大気電導率の同時測定
314. 関川公成・角田智良・関川俊男(東理大・理)・中
谷茂(電総研): 神楽坂と田無における大気電気伝
導度の比較

大会第1日(10月29日) 13時30分~18時

第1会場 大循環・大気振動・熱帯気象

座長 岩 嶋 樹 也

114. 相原正彦(気象大)・今井博子(気研・予報): 冬季
定常場の構造とエネルギー論 II
115. 山元龍三郎(京大・理)・星合 誠(愛知学院大):
低緯度平均循環の年毎の変動(序報)
116. 石崎 廣・山元龍三郎(京大・理): 火山大噴火に
伴なう直達日射量変化の全球的パターンについて
(序報)
117. 岩嶋樹也(京大・理): スペクトル大気大循環モデ
ル(I)
118. 木田秀次・片山昭・桜井 徹(気研・予報): 大気
大循環の数値実験
119. 増田善信(気象庁・電計): σ 座標とP座標を組み
合せた数値予報モデル
120. 岡村 存(気研・予報): 山岳地形効果の数値実験
121. 滝川雄壮・菊池幸雄(気象庁・電計): σ -座標系に
おける山岳付近の気圧傾度力の計算誤差について
122. 宇加治一雄・玉木克美(福岡大・理): 内部加熱に
よる回転流体の運動(2)
123. 小川和久・沢田竜吉(九大・理): 回転水槽におけ
る山の効果
124. 川平浩二(京大・理): 中間圏プラネタリー波の力
学的特性(II)
125. 宮原三郎(九大・理): シアー流中の重力波の水平
伝播について
126. 村松照男(札幌管区): 利尻島風下に発生するカル
マンうず
127. 飯田睦治郎・丸山健人・常岡好枝(気研・予報):
アジア南西モンスーン時におけるじょう乱の解析
(第三報)
128. 丸山健人(気研・予報): インド洋上空の赤道波
(続報)
129. 安成哲三(京大・防災研): ネパール・ヒマラヤに

おけるモンスーンじょう乱の解析(I)

130. 飯田睦治郎(気研・予報): 南北両半球間の相互作
用と熱帯じょう乱について

第2会場 放射 座長 田 中 正 之

215. 山香英三(松下技研)・中村邦雄・寺西昭夫・松下
幹男・青木忠生(東北大・理): 地上設置形気温垂
直分布測定装置について(II)
216. 関原 彊(気研・高物): 下部成層圏における輻射
ゾンデ観測の解析結果
217. 板部敏和・広野求和・藤原玄夫・渡辺健一(九大・
理): Fuego 噴火後の成層圏エアロゾル層・福岡
におけるレーザーレダ観測

第2会場 大気汚染 座長 中 野 道 雄

218. 伏見克彦・川村 清(気研・化学): 南鳥島におけ
る大気 CO の観測結果について
219. 川村 清・伏見克彦(気研・化学): 南鳥島におけ
る大気 NO_x および SO₂ の観測結果について
220. 樋口敬二(名大・水圏研): 大気汚染に伴う積雪の
融解過程の変化
221. 汚染質挙動研究グループ代表 浜 昊一(気研・
応用): 梅雨期における 関東地方の 広域の大気汚
染について
222. 大田正次・安達隆史(日本気象協会・研究所):
OX と SO_x のカテゴリ・カテゴリ予測手法
223. 岡本真一・塩沢清茂・広尾 純(早大・理工)・大
滝 厚(明大・工)・中村 健(東京都・自動車公害
課)・小山 潤(日本科学技術研修所(株)): 拡散モ
デルによる大気汚染シミュレーション(第4報)
224. 孫野長治・板坂昌幸(北大・理): 札幌市上空のエア
ロゾルの垂直分布観測
225. 内藤恵吉・横田良夫・高橋克己・田端功(気研・
衛星): ライダーによる大気拡散解析
226. 林 正康(公資研)・花房龍男(気研): 大気安定度
と気象要素の関連について

227. 石崎健二(北大・工): 煙突から出た上下方向の運動について
228. 水野建樹(公資研): 高所煙源からの拡散の解析
229. 斎藤哲史・太田久雄(千葉県公害研): 上層風の構造とオキシダント高濃度
- 230.
231. 中野道雄・川野 仁(大阪市): 大阪における光化学大気汚染解析
232. 橋本清美・堀内俊彦・桜井邦雄(神戸海洋): 大阪湾沿岸の海陸風—1974年8月の観測例
- 第3会場 オゾン・応用気象 座長 能登正之**
315. 福山 薫(京大・理): 長期にわたる大気光強度変動の考察(II)
316. 小川利紘(東大・理)・渡辺 隆(東教大・理): 太陽遮蔽法による成層圏エアロゾルのロケット観測
317. 小川利紘(東大・理): 塩素化合物による成層圏オ

ゾンの破壊

318. 真鍋大覚(九大・工)・志賀正信(福岡管区気台)・佐藤洋子(九大): 周防八代の鶴の帰去来と上空の気象
319. 真鍋大覚・佐藤洋子(九大・工): 北極と筑紫の寒暖期の対応
320. 志賀正信(福岡管区)・真鍋大覚(九・工大): 震生虹の観測記録
321. 伊藤正幸(松江地台): 鳥取県における晩霜について
322. 根本順吉(埼玉大): 災害対策について
323. 岡本昌弘(大阪管区・調査課): 京都府下の気象災害について
324. 山下邦博(消防研): 火災の上昇気流の挙動に関する研究(その1) タフドグリッド法による流れの可視化

大会第2日(10月30日) 9時—12時30分

第1会場 台風・季節風 座長 新田 勲

131. 宮崎正衛・蔵重 清(気研・台風): 台風域内の地上風分布のモデルについて
132. 阿部克也(気研・予報): 2層モデルによる台風の予報例
133. 山下 勇(室戸岬測)・麦田 穰(剣山測): 剣山に対する台風の接近確率と接近所要日数について
134. 二宮洸三(気研・予報): AMTEX 74 の逆転層と安定度の変化
135. 藤田敏夫・本多庸浩(気研・予報): 寒気吹出し時の AMTEX 領域での下層大気の構造
136. 足立俊三・孫野長治・播磨屋敏生(北大・理): AMTEX '75 の寒気の流出と cloud pattern
137. 浅井富雄(東大・海洋研)・三浦勇一(東京理大): 中規模渦状じょう乱の解析(2)
138. 浅井富雄・吉崎正憲・石川浩治(東大・海洋研)・三浦勇一(東京理大): 対流性レーダーエコーの移動の客観解析法
139. 浅井富雄・曾布川真理(東大・海洋研): 冬季東シナ海上における気団変質の数値実験
140. 播磨屋敏生・足立俊三(北大・理): AMTEX '75 期間中に観測されたたつ巻について
141. 穂積邦彦・孫野長治・遠藤辰雄(北大・理): 寒気吹出し時の列状雲の微細構造

142. 村松照男(札幌管区): 沿海州の地形による北海道西海岸の大雪
143. 杉本清秋(松江地台): 冬期季節風による日本海西部の対流性エコー

第2会場 境界層 座長 島 貫 陸

233. 田中正之(東北大・理)・太田幸雄(国立公衆衛生院): 放射霧の生成・消滅過程の数値実験による考察
234. 片山 昭(気研・予報): 逆転層と放射
235. 荒川秀俊(東海大・理): 境界層内での安定基準の気温減率は $\frac{g}{R} = 3.4^{\circ}\text{C}/100\text{m}$
236. 田中 浩(電波研): 昼間の対流圏低層における逆転層・重力波・熱対流・積雲のカップリング
237. 水間満郎(京大・原子炉)・伊藤昭三(大府大・工): 高さ数十米の丘陵の Ekman 層に及ぼす効果に関する数値実験
238. 岩谷祥美(日大・生産工): 風速変動の2次元スペクトルの計算
239. 岩谷祥美・山田信夫(日大・生産工): 風速変動の横方向の空間スペクトルについて
240. 島貫 陸・浦野 弘(東京学芸大): プラネタリー境界層における風速スパイラルの特性
241. 近藤純正(東北大・理): 大気・海中両境界層内で

- の流体力学的相似の仮説
242. 石井哲雄(日本獣医畜産大)・近藤純正(東北大・理): 海洋最上層での輸送問題数値実験(水温の日変化)
243. 竹内清秀・木村富士男(気研・応用): 海風いぶし現象について(2)
244. 佐橋謙(岡山大・教育): リーフ内で測定された海面温度について
245. 竹内衛夫・阿部克也(気研・予報): 海表面風の数値計算法について
246. 藤田敏夫(気研・予報): 二高度バルク法における水蒸気の影響と地衡風ドラッグについて
- 第3会場 測器 座長 大西慶市**
325. 伊藤昭三・星野毅史(大阪府大・工): 容量型湿度計の試作
326. 津田直吉・魚津博(気研・衛星): 光電型積雪深計について
327. 木村忠志(防災セ・雪害研)・福島茂・佐藤家郷(明星電気): R-O型積雪の深さ計
328. 木村忠志(防災セ・雪害研)・酒井孝・阿部勉(北陸地建)・難波敏・早川修平(東洋電機): 国道17号線の降雪分布
329. 木村忠志(防災セ・雪害研)・小羽根澄夫・片桐誠二・塚越庸一・長谷正雄(明星電気): 油槽式降水量計
330. 青柳二郎(気研・衛星): レーダ相互間の雲頂高度測定精度について
331. 小平信彦・村山信彦・高山陽三・上代英一(気研・衛星): GMS-DCP(衛星中継離島気象観測装置)の実用試験
332. 青柳二郎・吉留英二(気研・衛星): オメガ高層風観測データの解析
333. 高橋延男(気研・衛星): 現用風測器と調査研究用風測器との比較
334. 天野一郎(気研・衛星): 気象画像の有線テレメータについて
335. 落合弘明(鳥羽商船高専): リモート・センシングによる海面温度のデジタル解析について

大会第3日(10月31日) 9時~12時30分

第1会場 積雲・豪雨 座長 二宮洸三

144. 北出武夫(気研・台風): 対流の卓越しやすいスケールについて(II)
145. 椎野純一(気研・台風): AMTEX '74, '75 期間中の対流活動と逆転層について
146. 柳沢善次・椎野純一・神林慶子(気研・台風): ミリ波レーダで観測された積雲の特性(AMTEX)
147. 山崎孝治・片山昭(気研・予報): 積雲対流活動と大規模運動場との相互作用(AMTEX'74)
148. 椎野純一(気研・台風): 対流雲に関する Jet モデルと Bubble モデルの比較
149. 磯野謙治・武田喬男・岩坂泰信・藤吉康志(名大・水圏研): 冬期宮古島における降水雲の観測(AMTEX 1975)
150. 児玉良三(彦根地台): 短時間強雨ケース・スタディ
151. 中内義貴・松尾敬世(高知地台): 南四国における SW, SE 走向のエコーラインについて
152. 武田喬男・和田誠(名大・水圏研): 梅雨期豪雨(50.7.4)の垂直レーダーによる観測
153. 丸山健人・常岡好技(気研・予報): 集中豪雨の降

雨域の大きさと総雨量と継続時間の解析

154. 秋山孝子(気研・予報): 47.7 豪雨の水収支
155. 岡林俊雄(大阪航測)・立平良三(気象庁・電計室): 昭和49年7月上旬の帯状雲(台風に随伴)に伴う豪雨の解析
156. 村上勝郎(大阪管区・予報)・宮崎晴夫(京都地台): ブラックボックス法の利用について
157. 竹永一雄・滝野一郎(高知村台): 集中豪雨のポテンシャル予報の立場からみた事例解析

第2会場 境界層 座長 光田寧

247. 藤谷徳之助(気研・物理)・光田寧(京大・防災研): 海洋上の乱流輸送過程の研究(1). (AMTEX '74)
248. 内藤玄一・都司嘉宣・渡部勲(防災センター): AMTEX '75「のじま」における境界層観測
249. 米谷俊彦(岡大・農生研): 多良間島における乱れの測定結果について
250. 藤田敏夫・魚津博・花房龍男(気研): 宮古島における乱流輸送量の観測(AMTEX '75)
251. 大塚伸(気研・台風)本多庸浩(気研・予報)・宍戸信行(高層気台): 宮古島における大気境界層の

- 観測 (AMTEX '75)
252. 福島 圓・秋田錦一郎・田中 浩・増田悦久 (電波研): 宮古島におけるソーダ観測 (AMTEX '75)
253. 福島 圓・秋田錦一郎・田中 浩・増田悦久 (電波研): 移動式ソーダによる境界層の観測
- 254.
255. 安田延寿(東北大・理): AMTEX 海域の海面熱収支量と大気境界層
256. 山本 晋・蒲生 稔・横山長之(公資研): 飛行機による乱流の測定—その3 (都市上空における熱輸送量の測定)
257. 横山長之・山本 晋・蒲生 稔(公資研): 大気境界層中の乱流の微細構造
258. 光田 寧(京大・防災研)・森 征洋(香川大・教育): 風速変動の長周期成分について (Ⅲ)
259. 千葉 修(高知大・文理)・安達隆史(日本気象協会): 弱風時の乱流特性
260. 蒲生 稔・山本 晋・横山長之(公資研): 高度1~2 km までの粘性消散率の高度分布 (その2)
261. 蒲生 稔・山本 晋・横山長之・吉門 洋(公資研): 海陸2境界面上に発達する内部境界層の飛行機観測 (その4)
- 第3会場 雲物理** 座長 山下 晃
336. 古川義純(北大・低温研)・上田 博(北大・理)・高橋 徹・小林禎作(北大・低温研): PBC 理論からみた氷晶の形態について
337. 磯野謙治・丸山 稔(名大・水圏研): 初期成長段階における氷晶の形状について
338. 山下 晃(東大・理): 三角氷晶及びV型氷晶の成長機構
339. 谷口 恭・孫野長治(北大・理): 砲弾型氷晶について
340. 古川義純・小林禎作(北大・低温研): 雪の双晶構造 I—双晶境界面の構造について
341. 小林禎作・古川義純(北大・低温研)・上田博(北大・理): 雪の双晶構造 II—立体構造の雪結晶について
342. 小林禎作・古川義純(北大・低温研)・菊地勝弘(北大・理): 雪の双晶構造 III—“奇形”の雪の構造について
343. 吉永泰祐(青森地台): ヘリウム気体中のアンモニア結晶の成長
344. 板坂昌幸・孫野長治(北大・理): MCA レプリカ作製過程で生ずるウィスカーについて
345. 岩淵武士(北大・理)・那須淑子(北教大)・孫野長治(北大・理): 大気中の自然水を使った凍結荷電について
346. 上田 博・菊地勝弘(北大・理): 凍結水滴の結主軸の方向性について (単結晶水で凍結させた場合)
347. 中村 功(琉大・教養): 終速度で落下する球の後の定常渦について
348. 岩井邦中・近藤一彦(信州大・教): 種々の液滴の落下中の形について (その2)
349. 梶川正弘(秋田高専): 雪結晶の落下運動について (2)

大会第3日 (10月31日) 13時30分~17時

第1会場 総観気象 座長 久保田 利一

158. 高橋喜彦: 天気カレンダーと疑似予報 (天気カレンダーに関する最終報告)
159. 広瀬元孝・本多君子(気研・予報): 北半球月平均500mb高度の季節予報
160. 戸矢時義・小川安清・久保雅和(高松地台)・長谷川隆司(気象庁衛星)・萩原武士(松山地台): 中間規模じょう乱の解析
161. 角田豊吉・小林啓一(和歌山地台)・合田 勲(気象庁): 土佐沖低気圧の解析
162. 吉住禎夫(気研・予報): 土佐沖低気圧発生時の総観的特徴
163. 小沢 正・内山良子(気研・予報): 土佐沖低気圧の総観的機構について
164. 加藤政勝(大阪管区・予報): 前線周辺の運動場について
165. 坂根教閔, 他(舞鶴海洋): 若狭湾前線の解明(2)
166. 水姓勝敏(広島地台): 前線南下とレーダーエコー分布および大雨について
167. 渡部浩章(広島地台): 山陰沖のうず状じょう乱

168. 福長光男(奈良地台)・内田浩一(大阪管区)：奈良県の降雪について(第1報)
169. 大江健夫・宮本 修(高松地台)：四国地方における大雨の量的予想
170. 三鬼康彦(大阪航測)・久保田利一(大阪管区)：地形性低気圧による東よりの強風(昭和48年1月7日の例)
171. 田中貴一(徳島地台)：吉野川下流域の風の特性(第一, 二報)
172. 堀口喜一(舞鶴海洋)：日本海の霧について
- 第2会場 境界層** 座長 竹内清秀
262. 蒲生 稔・横山長之・吉門 洋・山本 晋(公害資源研)：逆転層の日変化観測
263. 堀内俊彦(神戸海洋)：冬季沿岸部に形成する接地逆転層について—明石海峡を中心とした観測例—
264. 米谷俊彦・瀬尾琢郎(岡大・農生研)：植物群落上の乱流特性について(Ⅲ)
265. 大畑哲夫・樋口敬二(名大・水圏研)：雪渓上で観測された風について
266. 塩谷正雄・岩谷祥美(日大・生産工)：建物周辺の風について
267. 千葉 長(仙台管区・観測)：仙台レーダーで観測されたエンゼルエコー
268. 柳沢善次・大塚 伸・神林慶子(気研・台風)：寒気吹出時のエンゼルエコー解析(AMTEX)
269. 斎藤直輔・内山徳栄(気研・予報)：冬季における南関東の局地風の立体構造(1)
270. 河村 武(気研・応用)：冬季における関東南部の局地風の立体構造(2)
271. 太田盛三・前田米造・千葉為利(広島地台)：広島上空摩擦層内の風の日変化に対する若干の解析例について
272. 斎藤直輔(気研・予報)：関東地方の海陸風の数値実験
273. 菊地幸雄(気象庁・電計)・荒川正一・白崎航一(気大)・長野美文(気象庁・電計)：南関東海陸風の数値シミュレーション(序報)
274. 光本茂記・浅井富雄(東大・海洋研)：海陸風循環によぼす傾斜面の影響
275. 宮本正明(日本気象協会関西本部)：関東地域とその東方沿海の気圧分布の特異性
276. 宮本正明(日本気象協会関西本部)：浜田, 金沢, 高田の気圧の異常低下と日本海低気圧の解析
- 第3会場 雲物理** 座長 駒林 誠
350. 梶原明仁(高松地台)：放射霧の霧粒について
351. 川上 護・泉頭甲寿・生田 仁・足原英明(米子測)：米子における雲について
352. 市村市太郎・藤原美幸(気研・台風)：宮古島附近に発生していた積雲の雲粒分布について
353. 藤原美幸・市村市太郎・柳沢利子(気研・台風)・青柳二郎(気研・衛星)：海洋性の弱い積雲内の降水粒子分布(Ⅱ. 変動スペクトル)
354. 武田喬男・和田 誠・藤吉康志(名大・水圏研)：梅雨期に観測した降水雲の微細構造
355. 塩月善晴(山口大・工短部)：本年7月25日ソウル豪雨で得た大雨滴について
356. 鵜飼重孝・町田秀雄・山科 修・加藤数衛(上智大)：雨滴粒度分布の測定結果(Ⅱ)
357. 後町幸雄(京大・防災研)：山岳降雨のモデル(続)
358. 岡田菊夫(名大・水圏研)：大気中の吸湿性エアロゾルの研究